

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00355)

事務事業名称	まちづくり施策の総合的な推進				款	05	項	01	目	01	事業	003	整理番号	348	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	企画調査係		連絡先電話番号	3512		昨年度整理番号	347					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和45年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	01							
令和 4年度担当課名	都市整備部管理課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、区内在勤・在学者 杉並区のまちづくりに係る組織・団体・機関	根拠法令等 (1) 都市計画法第18条の2 (2) 杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並区基本構想 (10年ビジョン) に示す杉並区の将来像を実現するため、「杉並区まちづくり基本方針 (杉並区都市計画マスタープラン)」に基づくまちづくり施策を総合的かつ計画的に推進する。	活動指標 指標名 (1) まちづくり調整会議の議案数 指標説明 指標名 (2)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	都市整備関連施策の総合計画及び国、都等との調整を行う。 都市整備に係る情報収集および調査研究を行う。 都市整備部内の事業支援を行う。	成果指標 指標名 (1) 「生活環境全般が良い」と思っている人の割合 指標説明 区民意向調査による【区民】 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	3	10	15	10	13	10	130.0	73.2
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	94.6	95.0	94.8	95.0	93.7	95.0	98.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	441	5,445	3,614	5,782	4,231	5,328	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	18,744	13,411	13,570	16,686	19,714	16,636	「杉並区まちづくり基本方針」の冊子及び概要版の印刷を令和5年度に繰り越したため、執行率が低下しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	3,628	3,675	3,675	3,678	3,678	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	19,185	22,484	20,859	26,143	27,623	25,642		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	19,185	22,484	20,859	26,143	27,623	25,642	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 348

内容	規模	単位	事業費 (千円)
杉並区まちづくり基本方針改定支援業務委託	1	件	4,180
まちづくり調整会議の開催	13	回	0
コンパクトなまちづくり推進協議会会費の支出	1	件	15
その他 (郵券の購入ほか)			36

取組成果

令和4年度は、新たな「杉並区基本構想」が示す区の将来像の実現に向け、「杉並区まちづくり基本方針」の改定を行いました。改定にあたっては7地域で説明会を開催するなど、区民等との対話や議論を深めた結果、改定の方向性を示した「骨子案」や「改定案」の区民等の意見提出手続きであわせて801件のご意見を頂き、対話を重視した改定作業に努めました。
また、中央道高井戸オンランプの開設支援については、「杉並区実行計画」に基づき進めてきた区の取組を分かりやすく区報により周知しました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区政を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、令和3年10月に策定された「杉並区基本構想」及び新たな「杉並区総合計画・実行計画」に即した計画とするため、「杉並区まちづくり基本方針」の改定を行いました。</p> <p>まちづくり施策に対しては、まちの安全・安心等の面から各事業の推進に対する期待の声が多い一方で、関係者への丁寧な説明や区民等との意見交換を十分に行い、理解を得ながら進めてほしいという意見も寄せられています。また、令和3年の「杉並区ゼロカーボンシティ宣言」を受け、分野横断的に環境負荷の少ないまちづくりを進めていくことが重要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>このため本基本方針の改定後も、まちづくりの目標の達成に向け、組織横断的に事業の情報共有や進捗管理を行うことが求められます。</p> <p>高井戸オンランプは、昭和41年の計画決定から交通量増加に伴う環境問題などにより、地域合意が得られず整備が進んでいません。4年度は、富士見丘小学校の移転を控え、事業者において住民団体と調整の上、測量調査を実施し、区は、周辺町会等への周知について協力を行いました。今後も、小学校の移転などまちの動きを捉えつつ、地域合意に向けた事業者の取組支援を行う必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>「杉並区まちづくり基本方針」の冊子及び概要版を発行し、暮らしやすく快適で魅力あるまちづくりを目指し、普及啓発活動を進めています。また、まちづくりに関する情報やご意見等は、課をまたいで共有し、組織一丸となって対応することで、より良い生活環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>高井戸オンランプが開設した場合に生じる、生活道路への通過交通の流入など、課題への対応を検討するため、交通量シミュレーション等による調査の実施状況や地域の動向について事業者と情報共有しています。</p> <p>また、大規模自然災害等に備えた事前防災・減災施策の取組を一層推進するため、「杉並区地域強靱化計画」について、国の補助金等を活用しやすい内容とするための修正を行っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>引き続き、分野横断的にまちづくり関連情報の収集、共有を積極的に行い、様々な方面からまちづくりの課題解決を図り、住宅都市としての価値を高めていきます。</p> <p>高井戸オンランプについては、生活道路への通過交通の流入など各課題への対応について、意見交換会等の場の活用などにより、関係所管や地域住民との情報共有を図っていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>「杉並区まちづくり基本方針」に基づき、引き続き個別具体のまちづくりの取組を推進します。</p> <p>高井戸オンランプに関しては、開設に向けて地域住民などの理解を得るため、より一層事業者との連携を図り、事業の必要性についてデータ等を用いて分かりやすく丁寧に説明するよう事業者に求めていきます。そのため、区が行うこととしている生活道路の交通シミュレーション等調査について、より具体的な条件を基にした詳細な調査を実施し、事業者や地域住民との共有を図っていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00358)

事務事業名称	都市計画道路公園緑地の案内調整			款	05	項	01	目	01	事業	005	整理番号	350
現担当課名	都市整備部管理課		係名	都市施設担当			連絡先電話番号	3513		昨年度整理番号	349		
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和43年度												
令和 4年度担当課名	都市整備部管理課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民（都市計画道路公園緑地の周辺住民等） 都市計画情報の確認者（建築、不動産関係業者他）	根拠法令等 (1) 都市計画法 (2) 都市計画法施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	都市計画道路・公園・緑地の計画の進捗状況を案内し、都市生活基盤の秩序ある整備を図る。 外かく環状道路・補助第133号線等の事業に関し、住民の意見・要望を踏まえた道路整備となるよう国・都に対して円滑な事業の実施に向けた調整を図る。	活動指標 指標名（ 1 ） 「すぎナビ」アクセス件数 指標説明 「都市計画情報」及び「都市計画施設図」へのアクセス件数 指標名（ 2 ） 外かく環状道路に関する検討会等開催回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	都市計画道路、公園、緑地の計画線の案内や都との調整を行う。 外かく環状道路に関する事業者及び沿線区市並びに住民との調整を行う。 都施行の都市計画道路に関する都・住民との調整を行う。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 区内都市計画道路の完成率 指標説明 区内都市計画道路完成延長÷区内都市計画道路計画延長【行政】 指標名（ 2 ） 区内都市計画公園緑地の供用率 指標説明 区内都市計画公園緑地供用面積÷区内都市計画公園緑地計画決定面積【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	114,678	120,000	128,753	125,000	107,300	120,000	85.8	78.0
活動指標 (2)	2 回	7	2	7	2	1	2	50.0	
成果指標 (1)	3 %	49	49	49	49	50	50	102.0	
成果指標 (2)	4 %	55	55	57	57	59	59	103.5	
事業費	5 千円	6,053	3,671	2,965	50	39	50	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	18,537	17,006	17,937	16,686	17,967	12,477	執行率の低下は、予算の全てが需用費となっており、その使用実績による結果です。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	24,590	20,677	20,902	16,736	18,006	12,527		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	24,590	20,677	20,902	16,736	18,006	12,527	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 350

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	都市計画道路・公園緑地の案内にかかる事務用品			39
	その他 ()			
取組成果	<p>都市計画道路・公園緑地に関する案内業務は、「すぎなみまっぷ」を適切に運用、更新、活用していくことで着実に実施しています。都市計画道路に関する調整については、外環において、大泉側シールドマシンの損傷により約半年間にわたり工事が停止し、国の地域説明会の開催が1回であったことなどから、説明会の周知や開催方法について改善を求めました。また、補助第133号線、74号線については、都が、用地測量を開始していますが、改めて、関係者への質問や心配に対する相談対応を行うため、個別説明などを実施し、区は必要な調整を行いました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区内における都市計画道路の整備事業に対する区民の関心はますます高まっており、地域住民への情報提供、意見や要望への対応については重要性が高くなっています。</p> <p>外かく環状道路については、区民の疑問や不安が解消され十分な理解を得ていくために、丁寧な対応と説明に努めるよう事業者に求めていく必要があります。</p> <p>133号線及び74号線の整備については、現在、東京都が用地測量を実施中ですが、地域住民には様々な意見があることから、より丁寧に事業内容を説明し、理解を得ていくよう都に求めていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>都市計画道路や都市計画公園・緑地の計画区域内や、事業認可後の事業地内において建物の建築等を行う個人・事業者からの問合せに対し、都市計画線の具体的な位置や建築制限の内容、届出などについて案内を行いました。案内に利用している公開型GIS「すぎナビ」及び「すぎなみまっぷ」については、より見やすくなるよう補正を行うとともに、適宜、必要な更新を行いました。また、予算については事前の計画に沿った執行を行っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>都市計画道路や都市計画公園・緑地の案内においては、引き続き「すぎナビ」や「すぎなみまっぷ」等を活用し、分かりやすい周知に努めます。</p> <p>詳細な計画線の案内については、都施行分は東京都の所管を案内するとともに、区施行分の都市計画道路は1/250詳細図、都市計画公園・緑地は1/500詳細図を利用して案内を行っていきます。一方で区施行分の案内は、現在、窓口対応のみとなっていることから、誰でも簡単にアクセスできるよう対応について検討する必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>区内における都市計画施設の整備事業に対する区民の関心は非常に高いことから、事業に関する地域住民へのさらなる情報提供や意見の聴取を図る必要がありますが、「すぎなみまっぷ」などを活用することにより、効率的な予算の執行に努め、これまでと同程度の予算による運用を行います。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00360)

事務事業名称	鉄道連続立体交差化の推進				款	05	項	01	目	01	事業	008	整理番号	353	
現担当課名	市街地整備課		係名	鉄道立体係		連絡先電話番号	3379		昨年度整理番号	352					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	市街地整備課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	京王線・西武新宿線沿線住民、まちづくり活動団体	根拠法令等	(1) 踏切道改良促進法 (2) 杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断の解消に向けて、鉄道連続立体交差事業の推進に取り組むとともに、住民との協働により、安全で利便性の高い沿線のまちづくりを進める。	活動指標	沿線まちづくり団体活動支援数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	沿線まちづくり活動団体を支援する。 沿線まちづくり等の検討を行う。 東京都、隣接区、鉄道事業者との調整等を行う。 地域への情報発信を行う。	指標名 (1)	まちづくり協議会への参加・協力等の回数
		指標名 (2)	まちづくり庁内検討組織の開催回数
		指標説明	沿線まちづくり等の検討回数
		成果指標	沿線まちづくり団体活動数
		指標名 (1)	まちづくり協議会や勉強会等の開催数【行政】
		指標名 (2)	関係機関との調整会議開催数
		指標説明	都・沿線区市・鉄道事業者等との連絡調整会議【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 件	38	30	29	35	44	35	125.7	95.0
活動指標 (2)	2 件	2	6	2	6	2	6	33.3	
成果指標 (1)	3 件	41	45	30	50	44	50	88.0	
成果指標 (2)	4 件	10	10	13	10	10	10	100.0	
事業費	5 千円	61,228	100,478	90,494	123,135	117,003	112,855	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	46,586	47,423	43,506	43,294	40,216	46,571	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	107,814	147,901	134,000	166,429	157,219	159,426		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	107,814	147,901	134,000	166,429	157,219	159,426	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 353

内容	規模	単位	事業費 (千円)
京王線・西武新宿線連続立体交差事業建設負担金の支出	2	件	71,706
下高井戸駅周辺地区まちづくり調査検討及び地区懇談会運営支援業務委託	2	件	4,191
西武新宿線交通基盤整備検討及び下井草駅まちづくりワークショップ運営委託	2	件	10,890
上井草駅周辺先行買収用地暫定整備工事	1	件	22,361
その他 (まちづくりニュース配布業務委託ほか)			7,855

取組成果

京王線連続立体交差事業について、早期完成に向けて都や沿線区、鉄道事業者等の関係者と連絡、調整を行いました。また、下高井戸駅周辺地区まちづくりについて、世田谷区と連携し、街づくり懇談会の開催や地区計画策定の検討を開始しました。

西武新宿線連続立体交差化計画 (井荻駅～西武柳沢駅間) 及び上井草駅周辺の駅前広場計画等については、用地測量を実施して約7割の関係者から境界合意を得ました。先行買収用地については、安全な歩行空間、駅前広場として、暫定整備を実施しました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>京王線連続立体交差事業は、平成26年2月に事業認可を取得し、平成30年10月から鉄道工事に着手していますが、令和3年度に事業期間を8年間延伸する事が決定しました。現在、工事ヤードの整備や、高架橋の構築等の工事を進めるとともに、側道など周辺道路整備の調整を行っています。今後も引き続き用地買収や工事など事業完了に向けた取組を進めます。</p> <p>まちづくりでは、沿線4駅で各駅周辺地区まちづくり方針を策定し、まちづくりの検討を進めています。特に下高井戸では、まちづくり協議会と連携したまちづくりを実施し、懇談会や報告会を実施しています。近隣区の世田谷区とともに駅周辺の一体的なまちづくりが求められています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>西武新宿線沿線に関しては、井荻駅～西武柳沢駅間連続立体交差化計画及び上井草駅駅前広場等計画について、用地測量説明会 (書面開催) を実施し、測量作業を行いました。令和5年度中に事業認可の取得を予定しています。</p> <p>まちづくりに関しては、関係機関や地域の皆さまと各駅周辺地区まちづくり方針で掲げたまちの将来像の具体化に向けた取組を進めています。上井草駅周辺については、練馬区と共催で、「まちづくり広場」を開催しました。井荻駅～野方駅間連続立体交差化については、計画の決定を見据え、下井草駅周辺まちづくりワークショップやオープンハウスを開催しています。地域住民から多様なご意見をいただいております。関係機関等と密な協議調整も含め、まちづくりを進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>沿線各駅において、上記取組を継続的に実施しています。</p> <p>「沿線まちづくり団体活動支援数」及び「沿線まちづくり団体活動数」については、各まちづくり団体がこれまでコロナ禍の活動自粛から活動を再開しており、団体活動数及び活動支援数が増加している状況です。区は積極的に支援を実施しています。</p> <p>「関係機関との調整会議開催数」については、密な調整・会議を実施して情報共有や検討調整を行うことで事業の着実な推進を図っている状況です。</p> <p>「まちづくり庁内検討組織の開催回数」については、事業の進捗に合わせて適切な時期に開催して、検討や情報共有を図っていく予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>京王線連続立体交差事業については、都や沿線区、鉄道事業者等の関係者と連絡調整を行うことで、用地取得や工事を計画的に進めています。また、まちづくりについては、沿線各駅のまちづくり協議会の活動支援を世田谷区と連携して行っています。特に下高井戸駅周辺では、近隣区の世田谷区と連携し、地域の将来像実現のため、地区計画等の具体的な検討を実施しています。令和5年度は地域住民の意見を聴取する懇談会を実施しており、令和6年度に地区計画素案の策定を予定しています。</p> <p>西武新宿線連続立体交差化計画 (井荻駅～西武柳沢駅間) 及び上井草駅周辺の駅前広場計画等については、令和5年度は事業認可取得に向けた関係機関協議等を実施しています。令和6年度は、用地取得に向けた個別物件調査や用地折衝等を進める必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>京王線連続立体交差事業においては令和12年度事業完了を目指しており、用地買収や高架化工事など事業が着実に進捗しています。進捗状況に応じて負担額が決定されるため、区の負担額の増加が想定されます。今後、沿線まちづくりについては、世田谷区と連携し、まちづくり協議会等への支援を継続的に行うとともに、まちづくりを具体的に進めていくため、地区計画の策定等の予算が必要となります。</p> <p>西武新宿線では、西武新宿線連続立体交差化計画 (井荻駅～西武柳沢駅間) 及び上井草駅駅前広場等計画の令和5年度事業認可取得を予定しています。今後、工事着手に向けた調査・設計や用地買収等の状況に応じた区負担金の増額が予想されます。また、井荻駅～野方駅間は連続立体交差化着工準備区間に位置付けられています。そのため、今後、沿線各駅まちづくりの都市計画の決定等を見据えた調査・委託の予算が必要となります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00399)

事務事業名称	道路台帳の整備			款	05	項	03	目	01	事業	004	整理番号	392
現担当課名	土木管理課		係名	道路台帳係			連絡先電話番号	3486		昨年度整理番号	392		
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和28年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	04					
令和 4年度担当課名	土木管理課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	道路等公共用地に隣接する土地所有者 区民	根拠法令等 (1) (2)	道路法第28条 国土調査法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地籍調査を実施することにより、道路等公共物の適正な管理や災害復旧の迅速化に役立てます。道路法に基づく道路台帳を整備し、公開します。区保有の高精度な基盤情報をオープン化します。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	地籍調査実施面積 (立会工程) (km ²) 立会工程における地籍調査実施面積 地籍調査実施面積 (測量工程) (km ²) 測量工程における地籍調査実施面積
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	国土調査法に基づく地籍調査のうち、街区を構成する道路等と民有地との境界を調査・測量する「街区境界調査」を実施する。道路等における形状等の変化を確実に反映させ、正確な道路台帳を整備するとともに、窓口及び区公式ホームページ等で公開する。測量の基礎となる基準点の整備及び管理を行う。地理情報システム及び公開型GISの運用及び利用促進を図る。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	地籍調査実施面積累計 (km ²) 立会工程と測量工程を合わせた地籍調査実施面積の累計【社会】 地籍調査進捗率 換算実施面積累計 ÷ 調査対象面積 (33.75km ²)【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 km ²	705,281.00	705,281.00	705,235.00	705,235.00	714,333.00	0.12	101.3	99.9
活動指標 (2)	2 km ²	1.85	2.00	2.04	1.90	1.90	1.32	100.0	
成果指標 (1)	3 km ²	12.33	12.35	12.39	12.44	12.44	18.87	100.0	
成果指標 (2)	4 %	36.5	36.6	36.7	36.9	36.9	36.9	100.0	
事業費	5 千円	215,713	191,700	190,951	192,545	192,330	197,541	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	70,830	64,429	67,033	63,362	60,805	74,862	
	上記以外の職員	7 千円	10,884	10,884	11,025	11,025	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	297,427	267,013	269,009	266,932	253,135	272,403		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	58,210	64,500	55,848	70,121	76,523	64,500	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	58,210	64,500	55,848	70,121	76,523	64,500	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	239,217	202,513	213,161	196,811	176,612	207,903	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 392

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	地籍調査 (立会) 0.18km ² 、(測量) 1.72km ²			128,565
	道路台帳補正	7,890	m	23,650
	公共基準点管理保守	2,388	基	8,382
	地理情報システム運用・利用促進、公開型GIS保守			29,312
	その他 (事務費 ほか)			2,421
取組成果	国土調査法に基づき、平成24年度から着手している地籍調査は、街区を構成する道路と民有地との境界等を調査測量する「街区境界調査」を実施しています。令和4年度は、土地所有者との現地立会を高円寺南四丁目、復元測量等 (境界線形の検討) を方南二丁目、堀ノ内一・二・三丁目、和田一・二丁目で実施しました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	地籍調査を進めることで、区民の貴重な財産である土地の境界等が明確になるほか、地震等災害時の復旧事業の迅速化や、道路・公園などの都市基盤を整備する際の測量経費が削減できる等のメリットがあります。しかし、区内全域を完了させるためには多くの費用と時間を要することから、国や都の補助金を活用しながら区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していきます。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	今年度の地籍調査は、西荻南一、二丁目の一部で土地所有者との現地立会を実施し、下高井戸一、二丁目、永福一丁目、和泉二丁目にて復元測量等 (境界線形の検討) を実施しており、令和6年2月未までに作業を終える予定です。 今後、測量の基礎となる基準点の整備及び管理に係る委託を行う予定です。 本事業の予算執行状況は、8月時点で約83%で、年度末100%を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	道路等の公共物の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興のため、地籍調査を早期に完了させる必要があります。 そのため、復元測量等は令和14年度全域完了となるよう実施区域面積の配分を検討します。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	土地が細分化され、権利関係が複雑な都市部での地籍調査には、多くの時間と費用を要します。しかし、地籍調査は、道路等の公共物の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興につなげることができるため、早期に区内全域を完了させる必要があります。そのため、国や都の補助金を活用しながら、都市基盤整備が脆弱な木造住宅密集地域等を優先的に進める等メリハリをつけて事業を執行します。 また、地理情報システム (GIS) を活用し、情報を一元化するとともに、その情報を共有することで業務の効率化を図ります。あわせて、公開型GISを活用し、区が保有する基盤情報等を広くオープン化していきます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00400)

事務事業名称	私道整備助成				款	05	項	03	目	01	事業	005	整理番号	393	
現担当課名	狭あい道路整備課		係名	私道整備担当係		連絡先電話番号	3475		昨年度整理番号	394					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和39年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	狭あい道路整備課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	私道管理者、沿道住民及び私道排水設備利用者	根拠法令等	(1)	杉並区私道の整備等に関する条例
			(2)	杉並区私道の整備等に関する条例施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域住民の私道通行の安全確保、生活環境の整備及び公衆衛生の向上を図る。	活動指標	指標名 (1)	舗装整備実績
			指標説明	舗装等助成による施工面積 (m ²)
			指標名 (2)	排水管施工実績
			指標説明	排水助成による施工延長 (m)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	私道舗装等整備助成申請のあった舗装整備工事、排水設備工事の助成を行う。 雨水ます清掃を行う。 助成申請については、年間を通じて随時受け付けている。	成果指標	指標名 (1)	舗装整備率
			指標説明	面積に対する実績面積【行政】
			指標名 (2)	排水管施工率
			指標説明	延長に対する実績延長【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 (1)	1	m ²	3,546	10,000	2,867	6,000	3,279	6,000	54.7	93.3
活動指標 (2)	2	m	213	500	309	400	116	400	29.0	
成果指標 (1)	3	%	35	100	28	100	54	100	54.0	
成果指標 (2)	4	%	42	100	61	100	29	100	29.0	
事業費	5	千円	170,573	178,575	174,386	180,799	168,773	182,652	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6	千円	8,503	8,503	8,426	8,343	8,318	4,981	
	上記以外の職員	7	千円	3,628	3,628	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8	千円	182,704	190,706	182,812	189,142	177,091	187,633		
財源	受益者負担分	9	千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11	千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12	千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13	千円	182,704	190,706	182,812	189,142	177,091	187,633	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 393

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	舗装整備工事助成 (透水性舗装も含む)		3,279	m ²
	排水設備工事助成	116	m	13,926
	雨水ます清掃請負	62	個	372
	その他 (需用費等)			140
取組成果	経年劣化した私道の大規模改修に対して、所有者等の申請に基づき助成を行いました。未舗装箇所の雨水排水の改善や排水設備の改修によって、21件の私道の機能回復がなされました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	杉並区内の私道において、昭和40年代から50年代にかけて、公共下水道の普及とともに、排水設備の敷設と舗装がなされてきました。通常下水道管の標準耐用年数は50年と言われる中、私道の多くの下水 (排水) 設備は敷設から55年を経過し、その経年劣化が著しく、それらを原因とした陥没や排水不良が多くみられるようになっていきます。そのような状況にあって助成制度への要望は増加傾向にあり、要件の整った私道に対し、舗装や排水設備の改善を行い、安全・安心の確保に取り組ましました。
課題・分析 (2 / 2)	今後要望箇所が増加するなか、安全・安心の確保の視点からより効果的な助成を行うために、助成要件を見直していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	現年度17件の申請を受け付け、年度末までにあと5件が申請予定となっています。全ての件名に対し、工事費の助成を行う見込です。予算執行状況からも、本年度予算の95%以上の執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	私道の大規模修繕を行う際、条件を満たしたものに対し、工事費の助成をすることで交通の安全及び生活環境の改善がなされています。今後、私道の経年劣化による通行の危険増大や排水設備の不良が多発することが予想されることから、私道助成制度の必要性が一層増し、助成制度の有効な活用と更なる効率化を図るため、私道の劣化度や通行の活用状態を考慮した、条件を組み入れていく必要が有ると考えます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	私道の大規模修繕には、多額の費用が掛かりそれが所有者の負担となっております。また、区内の私道の多くは、狭あい道路であり大規模修繕の時期に合わせて、狭あい道路整備事業と連携することにより改善を進めていきます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00403)

事務事業名称	道路の路面改良				款	05	項	03	目	01	事業	008	整理番号	396	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3429		昨年度整理番号	397					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和28年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	車両・歩行者・沿道住民等道路の利用者	根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第281条 道路法第16、42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	計画的に道路の修繕工事を行うことで良好な状態を保ち、歩行者の安全性と快適性の向上及び車両の円滑な通行を図る。 ○車両による騒音・振動等を低減し、沿道住民の居住環境を改善する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	道路の整備面積 (m ²) 透水性舗装への改良整備面積 (m ²)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	定期的な調査により道路の状態を把握し、計画的に在来道路の側溝及び舗装などの修繕工事を行う。 雨水流出抑制対策の取組として、区画道路の透水性舗装化、雨水ますの浸透化を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	実施計画に対する整備率 整備面積 ÷ 実施計画面積【行政】 浸透施設 (透水性舗装・浸透ます等) の累計時間浸透量 舗装 : 0.05m ³ /h/m ² 、樹 : 0.338m ³ /h/か所、浸透化 : 1.442m ³ /h/か所【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 m ²	27,594	24,700	24,917	30,000	26,517	30,000	88.4	80.9
活動指標 (2)	2 m ²	1,853	1,700	2,158	3,000	2,801	3,000	93.4	
成果指標 (1)	3 %	92	100	101	100	88	100	88.0	
成果指標 (2)	4 m ³ /h	15,687	15,874	15,836	16,094	16,035	16,293	99.6	
事業費	5 千円	728,244	708,408	648,123	763,546	617,757	941,195	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	34,721	34,962	38,057	43,384	46,664	44,085	令和4年度は路面改良工事の翌年度繰越及び落札差金残等により執行率が90%未満となりました。 令和5年度への繰越事業費：74,600千円 (工事請負費) 債務負担設定額：364,000千円 (令和5年度まで) 成果指標(2)浸透施設の項目を変更しました。(雨水ますの浸透化を追加)
	上記以外の職員	7 千円	0	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	762,965	745,184	688,018	808,768	666,260	987,119		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	4,010	1,000	1,000	3,500	2,850	9,000	
	その他の補助金等	11 千円	215,934	133,110	175,061	141,995	161,150	157,973	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	219,944	134,110	176,061	145,495	164,000	166,973	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	543,021	611,074	511,957	663,273	502,260	820,146	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 396

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	路面改良工事	26,517	m ²	518,263
	透水性舗装等工事	2,801	m ²	76,373
	道路測量委託	4,676	m	18,040
	取付管調査委託	1	件	4,620
	その他 (設計等事務費ほか)			461
取組成果	令和 4 年度の路面改良工事では21路線26,517m ² の整備を行い、雨水流出抑制対策として、時間浸透量の増加が見込める既設雨水ますの浸透化工法を新たに取り入れました。路面改良工事ではゼロ債務負担による工事 2 件や週休 2 日制確保試行工事、情報通信技術の活用による電子納品等、国が進める建設業の生産性向上に資する取組を始めました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	現在の工事内容は既存舗装の改修が主となっています。令和 4 年度は、沿道での開発行為の実施など大規模工事の発生により路面改良工事の次年度以降への延伸が生じるなど、整備面積が目標値に満たない結果となりました。 また、透水性舗装化する箇所は、舗装の改修時期や舗装材の耐久性等を考慮し交通量の少ない路線から選定していますが、当該年度に改修を必要とする箇所について透水性舗装に適さない箇所が多い年次もあるため、目標値に達しませんでした。
課題・分析 (2 / 2)	道路は計画的に修繕工事を行って良好な状態を保つ必要がありますが、道路舗装白書では現状の実行計画に定める整備面積では将来的に良好な状態を保つことが困難になると予測しており、将来を見据えて年間の整備面積を増やしていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和 5 年度の路面改良工事整備面積は目標値 3 万 m ² に達する見込みです。また、ゼロ債務負担による工事を 3 件発注し、全ての路面改良工事で情報通信技術の活用による電子納品等を実施するなど、建設業の生産性向上に資する取組を進めています。
事業の方向性・改善策	道路舗装白書では現状の実行計画に定める整備面積では将来的に良好な状態を保つことが困難になると予測されており、将来を見据えて年間の整備面積を増やしていく必要があります。併せて、定期的な路面性状調査等で現状把握を行い、効率的・計画的に工事を進めていきます。 また、業務効率化のため今年度から新たな発注方式を試行していますが、整備面積の増加等を見据え、今後もより良い手法の検討を進めます。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	道路は区民生活を支える最も身近で重要な都市基盤施設であり、安全・安心のまちづくりを進める上で必要不可欠です。道路舗装白書でも、将来に渡って道路を良好な状態に維持するためには更に整備面積を増やしていく必要性が明らかになっています。 引き続き、工事発注の平準化等、建設業の生産性向上や業務効率化に取り組むと共に、整備面積の増加に伴う事業コストの拡充が必要と考えます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00404)

事務事業名称	魅力ある歩行者優先の道づくり				款	05	項	03	目	01	事業	009	整理番号	397	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3429		昨年度整理番号	398					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和59年度	実行計画事業	目標	02	施策	05	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	道路利用者及び周辺居住者等	根拠法令等	(1) 地方自治法第281条の2 (2) 道路法第16条1項
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	歩行空間の確保やまちの景観向上を図るため、身近なアクセス道路の整備を進める。生活道路の無電柱化、バリアフリー化を推進し、誰もが安心・安全に利用できる道路を整備する。交通事故が多い路線における歩行者等の安全を確保するため、安全対策を実施し、交通事故の防止を図る。	活動指標	景観に配慮した道路整備延長
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	アクセス道路として、旧水路敷を利用した遊歩道（水のみち）整備を進める。生活道路について、すぎなみの道づくり（道路整備方針）及び杉並区無電柱化推進方針に基づく整備を進める。歩行者の安全性の向上を図るため、生活道路におけるスピード抑止など、安全対策を実施する。	指標名（ 1 ）	平成26年度からの整備延長
		指標説明	安全対策路線の整備延長
		指標名（ 2 ）	平成29年度からの整備延長
		成果指標	景観に配慮した道路整備延長（累計）
		指標名（ 1 ）	平成26年度からの累計整備延長【行政】
		指標説明	安全対策路線の整備率
		指標名（ 2 ）	すぎなみの道づくり（道路整備方針）に掲げる安全対策路線の整備率【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 m	60	85	91	0	0	80	0.0	77.9
活動指標 (2)	2 km	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	100.0	
成果指標 (1)	3 m	482.0	567.0	573.0	573.0	573.0	653.0	100.0	
成果指標 (2)	4 %	44.3	52.9	52.9	60.9	60.9	70.7	100.0	
事業費	5 千円	64,709	135,779	113,725	72,748	56,705	164,238	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	10,799	16,326	17,937	41,214	44,335	41,091	事業費の計画が前年度と比較し約半減した理由は、4年度は生活道路の安全対策工事以外に主だった工事の計画がなかったことによります。また、実績が計画に対し77.9%となった理由は、主に無電柱化の推進に関わる設計、測量、調査等の委託費（4件）の契約落札差金があったことによります。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	75,508	152,105	131,662	113,962	101,040	205,329		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	30,037	45,000	31,851	20,420	14,890	4,000	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	10,890	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	30,037	45,000	31,851	20,420	25,780	4,000	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	45,471	107,105	99,811	93,542	75,260	201,329	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 397

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	無電柱化路線設計・測量・調査等委託	4	件	35,413
	杉並区無電柱化推進方針改定案作成業務	1	件	3,465
	生活道路安全対策工事	1	件	13,335
	水のみち測量設計委託	1	件	4,070
	その他 (事務費)			422
取組成果	<p>令和5年度に整備を予定している旧水路敷を利用した遊歩道 (水のみち) 整備の測量設計を行いました。また、「すぎなみの道づくり (道路整備方針)」で選定した安全対策路線の2路線について路側帯のカラー舗装などを行いました。無電柱化については、特別区道第2096-1号路線、都市計画道路補助第132号線の電線共同溝の詳細設計及び阿佐ヶ谷駅北東地区内の無電柱化整備に関する現況測量や地下埋設管調査を行いました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>生活道路の整備については、防災性の向上や安全で快適な歩行者・自転車空間の確保を望む声が多く、「すぎなみの道づくり (道路整備方針)」に基づき安全対策路線の整備を着実に進め、優先整備路線についても具体的な整備手法の検討を進める必要があります。</p> <p>無電柱化の推進にあたっては、歩行者や車いす利用者等の通行の妨げとなることから、商店街や幅員の狭い道路に対する無電柱化への要望が多く寄せられています。また、林立した電柱や輻輳した電線により景観を損ねるだけでなく、災害時には電柱倒壊などによる避難活動や物資輸送に支障が生じる恐れがあるなど、防災機能の強化のためにも無電柱化の重要性が高まっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>しかし、地上機器の設置場所の確保や施工性等の課題により、無電柱化には多くの時間と費用を要し、区内全ての道路を無電柱化することは極めて困難です。このため、増加する無電柱化への要望すべてに対応することができない状況にあります。区道の無電柱化は「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、都市計画道路事業に合わせた整備や、幅員6m以上の生活道路への整備など、整備効果の高い路線を抽出し、順次整備を進めているところです。今後は、学校・公園などの公共用地を活用するなどして地上機器の設置場所を確保し、狭い道路を含むエリアへの整備の推進、また、従来の電線共同溝方式に限らない新技術等の積極的な活用を検討が必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>旧水路敷を利用した遊歩道 (水のみち) の整備については、昨年度設計した水路の工事や、今後の設計の効率化にむけた標準設計の策定委託を、第3・第4四半期にかけて実施する予定です。「すぎなみの道づくり (道路整備方針)」に基づく安全対策路線の整備については、第3・第4四半期にかけて計画通り実施を予定していますが、優先整備路線の測量は、富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針の進捗踏まえ、今年度の実施を見送る方向で検討を進めています。無電柱化整備は、荻窪保健所前バス通りについて、水道局と協議・調整を行い、支障となる既設水道管の移設工事が進んでいます。阿佐ヶ谷駅北東地区内については無電柱化整備に関する設計を進めており、都市計画道路補助221号線についても設計に着手しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>旧水路敷を利用した遊歩道 (水のみち) の整備については、今後、今年度策定予定の標準設計を活用していくことで、業務の効率化を図ってまいります。生活道路の安全対策路線の整備については、令和7年度までの計画となっており、優先整備路線の整備の検討などとあわせ、今後、実施予定の「すぎなみの道づくり (道路整備方針)」の見直しの中で、令和8年度以降の取組の検討を図ります。</p> <p>無電柱化の推進については、都市計画道路の事業に合わせた無電柱化と共に、歩道の無い生活道路の無電柱化整備を「杉並区無電柱化推進方針」に基づき進めていきます。今後は無電柱化推進方針を見直し、まちづくり等において、幅員の狭い道路を含めたエリアへの整備の推進や、新設電柱の抑制、新技術等の活用についての検討を進めます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>旧水路敷を利用した遊歩道 (水のみち) の整備に関する設計委託のコスト圧縮を図ります。生活道路の安全対策路線の整備及び優先整備路線の整備については、引き続き、「すぎなみの道づくり (道路整備方針)」に基づき、計画的に実施してまいります。</p> <p>無電柱化整備については、引き続き支障移設工事や設計を進めていきます。設計において、従前の資材より安価となる新たな資材の活用等、コスト縮減について検討を行ってまいります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00405)

事務事業名称	都市計画道路の整備				款	05	項	03	目	01	事業	010	整理番号	398	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3426		昨年度整理番号	399					
上位施策No・施策名	05 人々の暮らしを支える都市基盤の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成 2年度	実行計画事業	目標 02	施策 05	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
令和 4年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	都市計画道路利用者（車両運転者及び歩行者、沿道住民等すべてを含む）	根拠法令等 (1) 都市計画法第59条 (2) 道路法第16条第1項
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	都市における人や物の円滑な移動を確保する。都市環境や防災の面で良好な都市空間を形成する。区民の生活を支えるライフラインや公共交通の収容空間を確保する。無電柱化、バリアフリー等により、誰もが安心・安全に利用できる道路を整備する。	活動指標 指標名 (1) 区施行優先整備路線延長 指標説明 事業化計画に基づく、区が施行する優先整備路線の延長 指標名 (2) 都市計画道路（区施行）完成延長（累計） 指標説明 区が施行する都市計画道路延長（累計）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に基づき、区施行の優先整備路線について事業化を進める。	成果指標 指標名 (1) 区施行優先整備路線の事業着手率 指標説明 事業着手延長 ÷ 区施行優先整備路線延長【社会】 指標名 (2) 区内の都市計画道路完成率 指標説明 都市計画道路の整備延長 ÷ 計画延長（84.5km）【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 m	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	100.0	50.0
活動指標 (2)	2 m	7,022	7,022	7,022	7,022	7,022	7,022	100.0	
成果指標 (1)	3 %	26	26	26	39	39	39	100.0	
成果指標 (2)	4 %	49	49	49	49	50	50	102.0	
事業費	5 千円	59,884	184,033	134,924	237,026	118,395	1,012,979	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	29,590	29,931	68,329	71,416	73,864	65,372	令和4年度の物件調査・補償総合業務費の一部を令和5年度に繰越しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	89,474	213,964	203,253	308,442	192,259	1,078,351		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	156,750		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	156,750	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	89,474	213,964	203,253	308,442	192,259	921,601		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 398

内容	規模	単位	事業費 (千円)
都市計画道路：測量、道路、橋梁、電線共同溝等設計委託	9	件	58,311
都市計画道路：物件調査・補償算定等業務委託	13	件	40,345
都市計画道路：事業周知・対話集会運営委託、シンポジウム撮影委託	6	件	10,052
都市計画道路：暫定整備等工事	5	件	8,674
その他 (事務用品の購入ほか)			1,013

取組成果

西荻の補助第132号線について、詳細設計 (道路、橋梁、電線共同溝) を行うと共に、都道および河川管理者の東京都との設計協議が完了しました。令和4年度末における道路用地取得率は14.2%となりました。高円寺の補助第221号線については、令和4年7月1日に事業認可を取得し、事業着手しました。西荻と高円寺地域では、区民と区長の対話集会を計8回開催すると共に、まちづくりや道路整備に関するアンケート調査を実施し、様々な意見の報告の場として、シンポジウムを開催しました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>都市計画道路は、多様な機能を有する都市を形成する最も基本的なインフラであり、人や物の円滑な移動の他に、災害時には避難路や延焼遮断帯としての機能を備えています。首都直下地震等大規模災害に備え、災害に強い都市基盤施設の整備を着実に進める必要があります。</p> <p>区内の都市計画道路完成率は令和4年度末時点で約50%であり、23区中20番目と完成率は他区に比べ低い状況にあります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>都市計画道路のようなまちづくりに大きく影響する事業では、様々な意見や立場の違いがあり、全ての住民の合意を得ることは困難ですが、出来る限り対話を重ね進めていく必要があります。令和4年度は、区民との対話集会やアンケート等を実施し、様々な意見をいただいています。今後も対話によるまちづくりを進めていくため、新たな対話の場を設け、区民と共に公共空間としての道路やまちについて議論し、安全、安心のまちづくりへの理解を深めながら、都市計画道路の着実な整備の推進を図ります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>補助第132号線については、事業用地取得に向けて折衝を進めており、用地取得率は14.2%となっています。取得用地は、周辺の景観等を考慮した暫定整備工事を実施しており、本年度は1箇所を施工しました。補助第221号線は、事業着手後の説明会 (オープンハウス形式) を開催しました。用地折衝を進め、用地取得率は3.1%となっています。また、無電柱化整備のため、電線共同溝の予備設計委託契約を締結しています。都市計画道路事業に着手した西荻窪と高円寺地域では、区民と区長の対話集会を実施しており、いただいた様々な意見を整理・分析する支援業務委託により、新たな対話の場の運営等について検討しています。また、都市計画道路の次期事業化計画策定に向け、区独自の地域特性等を踏まえた検証を行うため、評価手法検討業務委託の契約を締結しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>関係権利者との折衝を進め、事業用地の取得に務めるとともに、地域住民等と対話を重ね、合意形成に向けたコミュニケーションを図っていく必要があります。そのため、これまで実施してきた対話集会等でいただいた様々な意見を整理・分析するとともに、今後のまちづくりへと繋げていくため、持続可能な新たな対話の場を設け、引続き対話を重視したまちづくりを実施していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>補助132号線については、令和4年度に杉並区土地開発公社で取得した事業用地の買戻しが生じるため、事業コストは増加します。補助221号線については、用地折衝を進めるとともに、必要な設計等を行っていきます。</p>	